

眼圧検査



眼圧検査は、直接、目に空気をあて、反射より眼圧を測定します。

眼球の前方は房水という液体で圧力が保たれており、この圧力を眼圧と言います。

この検査は、空気が目にあたるので、驚かれて目をつぶってしまわれたりすることがありますが、痛みなどの苦痛はありません。

眼圧検査は、緑内障を調べるために重要な検査です。

緑内障は、眼圧（角膜とレンズの間にある前房に溜まった液の圧力）が高くなって視神経が障害を受けて視野（見える範囲）が狭まったり、視力が落ちて失明することもある病気です。しかし、正常眼圧緑内障といって、眼圧が高くなくても起こる緑内障があり、これが疑われる場合には視野検査などの詳しい検査を行います。

緑内障の視覚障害イメージ



最近、目が疲れやすい、何だかモノが見えにくくなったなどと感じても、パソコンを見すぎたせいかな、メガネが合わなくなってきたのかな、歳のせいかな、などと思っているうちに、緑内障が進行してしまうことがあります。進行すると治らないことが多いので、目の具合が良くないと感じたら、早めに眼科に受診することが大切です。

健診やドックは、眼の状態をチェックする良い機会です。「要精密検査」といわれたら、たとえ自覚症状がなくても、眼科に受診してください。また「要再検査」という判定なら、面倒がらずに再検査を受けてください。